

5. 魅力向上策の検討

5.1 主要なサービス毎の方策検討

太閤山ランドがもつ主要な3つのサービスである「レクリエーション・賑わい」「健康づくり・スポーツ」「憩い・癒し」を切り口に、取組みの視点から抽出した課題に対し、それぞれの切り口ごとにサービス検討（魅力向上の考え方）のポイントを踏まえ、民間事業者の資金やノウハウ、ネットワークを利用する官民連携による魅力向上策の検討を行った。

【サービス検討（魅力向上の考え方）のポイント】

①今ある魅力を活かしてさらなる魅力向上を図る

現在人気のある施設・エリアやポテンシャルのある施設・エリアについては、その魅力を活かしつつ、最先端のデジタル技術や民間活力などを活用することで更なる魅力向上を図る。

②課題を解決し魅力向上を図る

現在、問題点のある施設・エリアについては、状況に応じて廃止・機能転換も視野に入れ、最先端のデジタル技術や民間活力などを活用することで問題点を解決し、魅力に変えていく。

③切り口ごとに新たな魅力を付加する

上記の主要な3つのサービスにあわせて利活用を検討し、公園の魅力を一層引き立てる施設・エリアとしていく。

④現在の魅力を維持させる

現状の機能を維持し、必要に応じてバリアフリー化や補修・修繕などを行うことで、誰もが使いやすい施設・エリアとしていく。

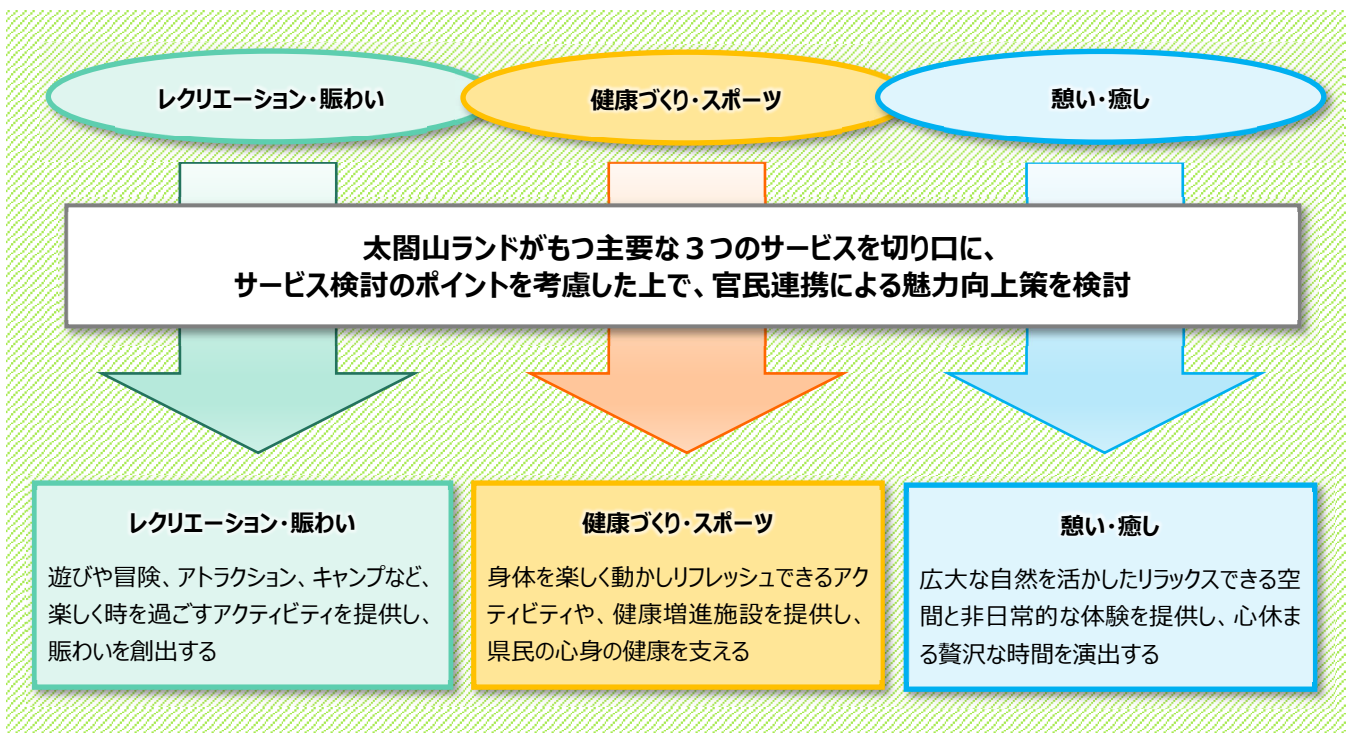


図 7 魅力向上策の3つのサービス

5.2 魅力向上策の検討

5.2.1 3つのサービス別の魅力向上策の検討

太閤山ランドの主要施設・エリア等を主要な3つのサービス（①レクリエーション・賑わい ②健康づくり・スポーツ ③憩い・癒し）を切り口に、サービス検討のポイントに従って、検討・整理した。

表 6 魅力向上の方針

魅力向上の考え方	施設・エリア等	整備方法		
		レクリエーション・賑わい	健康づくり・スポーツ	憩い・癒し
今ある魅力を活かしてさらなる魅力向上を図る	プール広場		○	○ リニューアル ▲ 現状維持 × 廃止 ◎ 新規整備
	こどもみらい館		○	
	サイクリングセンター		○	
	トレーン		○	
	水辺の広場		◎	
課題を解決し魅力向上を図る	園地全体		○	主な園路のバリアフリー対応
			○	トイレのバリアフリー対応
			○	サイン等の更新
	虹のうきはし		○	改修（バリアフリー化）
	入口広場		◎	エントランス機能の強化と魅力向上
	赤い屋根ギャラリー		○	立地を活かした施設の利活用
	テニスコート	○ 改修	○ 改修・ドーム設置による機能強化	○ 改修
	BMX 競技場		○	ドッグランの移設・拡大による新たな利用者層の獲得
	ドッグラン		×	
	スカイプロムナード(未使用)		×	
切り口ごとに新たな魅力を付加する	ファミリー・スポーツ・プラザ	○	○	▲
	展望塔	▲	▲	○
	太閤山荘	▲	▲	○
	紫陽庵	▲	▲	○
	ローラースケート場	○	○	▲
	わんぱくの丘	◎×	◎×	○×
	ピクニック広場	○	▲	▲
	立入禁止エリア・樹林環境	◎	◎	◎

魅力向上の 考え方	施設・エリア等	整備方法		
		レクリエーション ・賑わい	健康づくり ・スポーツ	憩い・癒し
現在の魅力を 維持させる	クリスタルゲレンデ		▲	○ リニューアル ▲ 現状維持 × 廃止 ◎ 新規整備
	ふるさとパレス		▲	
	野外劇場		▲	
	ボートのりば		▲	
	バーベキューコーナー		▲	
	スポーツ広場		▲	
	いきいき広場		▲	
	せせらぎの道		▲	
	各種散策路※		▲	

※ボードウォーク、あじさい通り、やまはぎの道、さくら通り、やまぶき通り 等

5.2.2 整備イメージの整理

太閤山ランドの魅力向上にあたり、現地調査や管理者ヒアリング、県民ニーズ、社会的なトレンド等を考慮したうえで、先進事例の調査結果を参考に、サービス検討のポイントに従って検討した魅力向上策を整理した。なお、現在、行政の課題や地域の課題が複雑化、また多様化していることから、官民連携して対応し、県民サービスの向上を図っていくこととしている。このため、太閤山ランドの魅力向上策の検討にあたっては、県が単独で実施するものではなく、官民連携により実現できる可能性のある事業を選定した。（実際の事業の実施やサービスの導入については、民間事業者の協力を要する。）

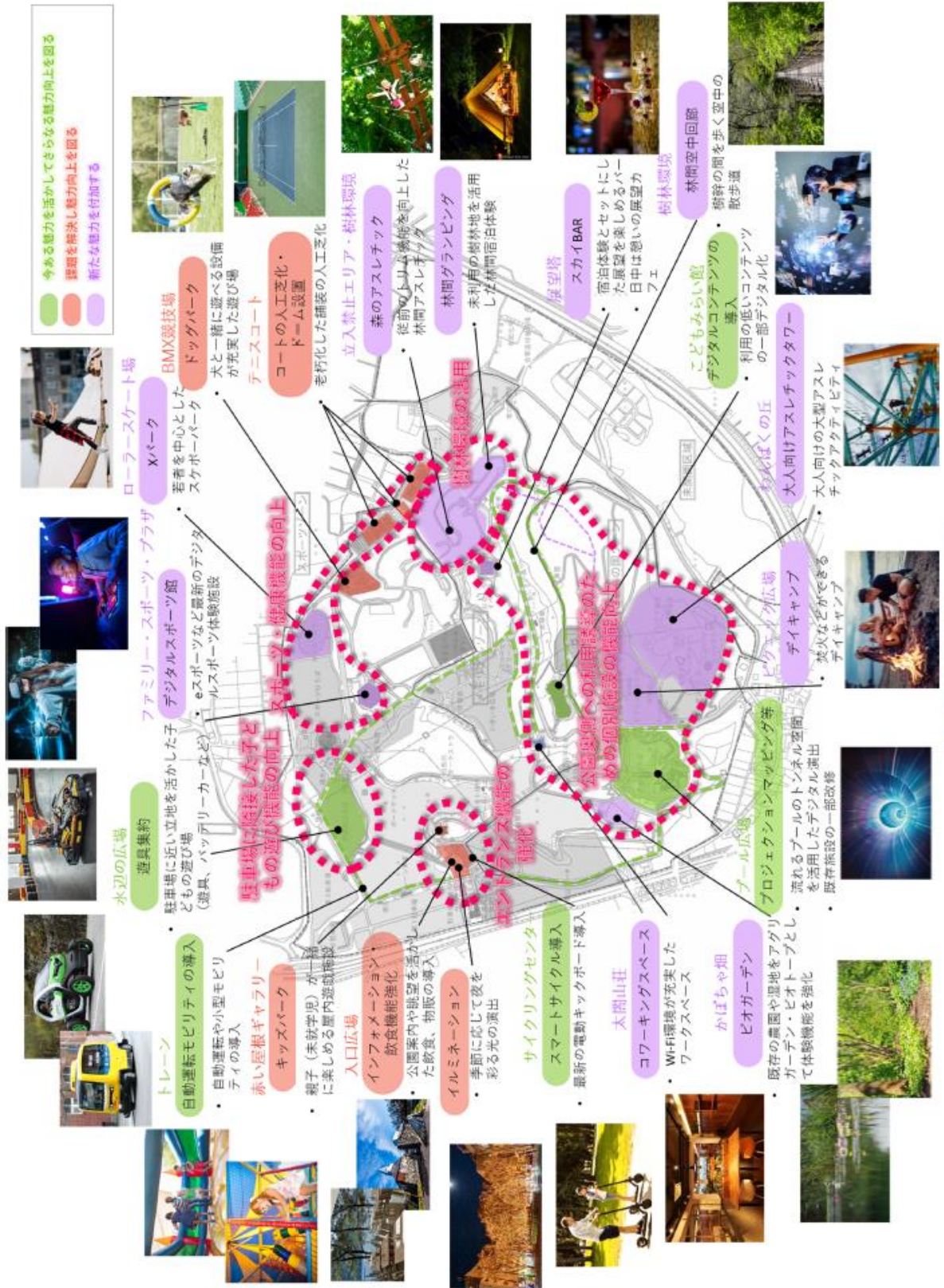


図 8 魅力向上策 整備イメージ図